

はたどの まちづくりだより

機殿まちづくり協議会 会報

第 35 号

2021.2.1 発行

発行:機殿まちづくり協議会 広報編集委員会

TEL:0598-59-0351

チャレンジと継続!!

機殿まちづくり協議会：会長 横井富夫

機殿の皆様、いかがお過ごしでしょうか。この1年はコロナに始まり、いまだコロナ継続中！早く収束することを願うばかりです。また皆様の機殿まちづくり協議会へのご理解・ご支援、感謝しております。さて機殿ですが、この4月からいよいよまちづくり協議会（住民自治協議会）を中心とした組織が誕生、機能します。簡単にいうと、自治会、公民館等の色々な組織が全てまちづくり協議会の中に入ります。必然的に市からのお金の流れも同様となります。しかし、全体的にみて事業等について変わりはありません。初めての組織形態であり、多少のまごつきはあると思いますが心配ありません。



思うにこれを機会として色々なことにチャレンジして下さい。そして、継続の大切さも認識していただき上記タイトルを実践して下さい。これからの役員さんも色々な面で大変だと思えますが、機殿のためにお力添えいただきますようお願いいたします。最後に、この1年は何事も難しくなかなか進めることができず、皆様に申し訳なく思っています。しかしながら、いつも機殿の発展を心より願っています。

小学5年生によるお米作り体験

トゥモロー
部会

今年度は、コロナウイルス感染症が広がり大変な年になりました。新型コロナウイルスが一日も早く終息を迎えますようお祈りします。そんな中での部会事業は「ジャガイモ栽培」、「新型コロナウイルス感染症に負けない健康づくり」をテーマにした「健康講座」、「小学生お米作り体験学習」を実施しました。

特に小学5年生10名によるお米作り体験は文集としてまとめられました。お米作り体験に参加した5年生の皆さん、校長先生、松浦先生、部会員の皆さま、1年間お疲れ様でした。新型コロナウイルスが収まりましたら、また当部会の事業へのご参加もお願いします。ありがとうございました。

文集の一部を
ご紹介します。



お米は八十八と書いてあるが米作りには八十八回手入れしないと出来ない大変な仕事と教えてもらいました。

コロナで田植え出来なくて残念でした。

刈り取り・脱穀・水分測定・空瓶米つきなど初めての作業大変でした。

お米には4つの特徴を学習

1. 一粒の種から1年で2000粒、2年で400万粒たくさん採れる
2. 同じ場所でも何年も採れる
3. たくさん栄養がある
4. おにぎりご飯だけで食べられるなど、お米について知らないことを沢山教えてもらいました。

洪水への備えと 避難行動をテーマに協議

安全部会

昨年は7月の熊本県の球磨川や岐阜県の飛騨川、8月の山形県の最上川と集中豪雨による河川の氾濫が続きました。「スーパー台風」、「線状降水帯」、「特別警報」という言葉に代表されるように近年気象状況が大きく変わってきています。

私たちの地域のすぐそばにも櫛田川という河川が流れており、いつ被害が起こるかもしれません。このような状況を踏まえ、安全部会では、「櫛田川の洪水への備えと避難行動」とテーマを定め協議を重ねてきました。当初予定していた避難訓練事業に関しても、町別の第1次避難行動は通常の形で行い、第2次避難行動は講演会だけとし、参加者も例年の半数以下の40人に絞るなど規模の縮小と時間の短縮を図り、“新型コロナ感染に配慮”して実施の方向で調整して



全戸配付した緊急脱出用ハンマー

おりました。しかし、避難訓練実施数日前になっても、全国の新型コロナ感染者数は増え続けました。県内においても感染者は20人を越え、近隣市町村からも感染者が出るという状況になり、残念ながら急遽、中止の判断をいたしました。ただ、少しでも災害に対する意識向上のため、第2次避難行動に参加予定者には、市提供の備蓄食品「フリーズドライご飯」を配付。全戸には災害に活用できる「緊急脱出用ハンマー」を配付しました。

防災訓練事業は中止になりましたが、私たちひとりひとりの災害への向き合い方で、実際の被害の規模は大きく変わります。困難な状況ではありますが、少しずつでも取り組みを進めていきたいと考えています。

はたどのまちづくりだより に 情報をお寄せください

「はたどのまちづくりだより」は、機殿まちづくり協議会の活動を地域の皆様にお知らせする広報として、年2～3回発行の予定です。
(都合により変更する場合があります)

機殿まちづくり協議会の事業、各部会の事業のお知らせ、活動報告など、情報提供には参考資料としてチラシや要項、活動内容がわかる写真データなども添えてご提出いただくと助かります。

情報提供は
コチラまで

各部会の「広報編集委員」もしくは機殿地区
市民センター内「広報編集委員会」まで。

TEL : 0598-59-0351

